



2022年1月25日
株式会社ゲンロン／ゲンロンスクール

卒業生の活躍実績多数！「ゲンロン ひらめき☆マンガ教室」第5期受講生募集開始

マンガで対話しよう。

ゲンロン ひらめき☆マンガ教室
GENRON HIRAMEKI ☆ MANGA SCHOOL

1 概要

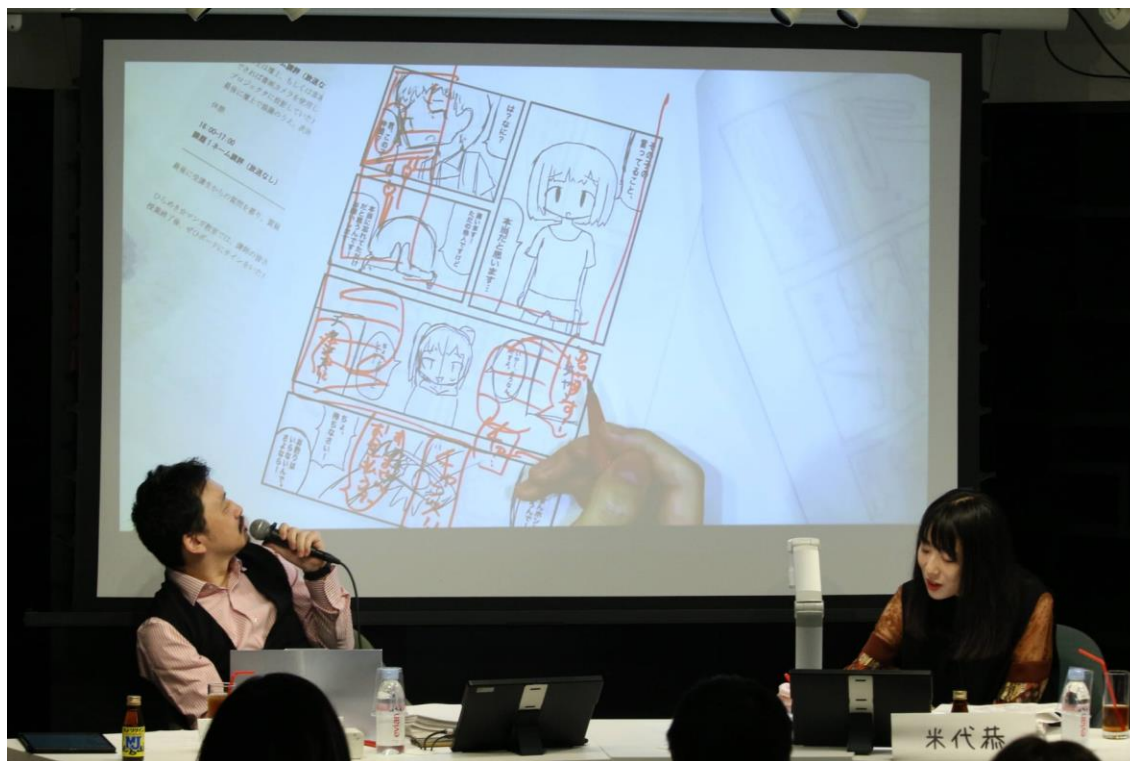
株式会社ゲンロン(本社:東京都品川区 代表取締役:上田洋子)は、マンガ家育成のためのスクール「ゲンロン ひらめき☆マンガ教室」の第5期(2022年度)を、2022年4月から2023年3月までの12カ月で開講いたします。主任講師を務めるのは、批評家・マンガ原作者のさやわか氏です。マンガ家の大井昌和氏(『ちいちゃんのおしながき』『おくさん』)が、マンガ界の「センパイ」として受講生のサポートに加わります。

現在受講生を募集中です。募集期間は3月1日(火)まで。先着順での受付となり、定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます。

第5期では新たなゲスト講師に鶴谷香央理氏(『メタモルフォーゼの縁側』『don't like this』)、前期から継続

で伊藤剛氏(東京工芸大学マンガ学科教授)、師走の翁氏(『シャイニング娘。』『ピスはめ!』)、水上悟志氏(『惑星(ほし)のさみだれ』『スピリットサークル』)、武富健治氏(『鈴木先生』『古代戦士ハニワット』)、みずしな孝之氏(『いとしのムーコ』)、横山了一氏(『戦国コミケ』)、米代恭氏(『あげくの果てのカノン』『往生際の意味を知れ!』)らが第4期から継続してゲスト講師として参加します。最終講評会の審査員にはさやわか氏、武富健治氏に加え、コラムニストのブルボン小林氏、小学館編集者の金城小百合氏が参加します。

本スクールは、マンガの描き方を教えるだけではなく、「マンガ家になる」ための実践的な講義やワークショップを行うことが特徴です。過去の受講生も、マンガ賞を受賞または雑誌媒体などへの掲載、単行本の発売など、大きな活躍を見せています。



2020年9月6日の講座より。講師・米代恭(右)が受講生のネームに丁寧に赤を入れて指導。



2021年8月28日の第4期「最終講評会」より。左から、さやわか、武富健治、ブルボン小林、金城小百合。7時間を超える白熱の講評が行われた。

2 実施・募集概要

実施期間: 2022年4月9日~2023年3月11日

会場: ゲンロンカフェ (〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-11-9 司ビル 6F)

※感染症の流行などやむを得ない事情により、日程を変更、または一部の講義をオンラインで行う場合がございます。

講師:

主任講師: さやわか

センパイ・ゲスト講師: 大井昌和

ゲスト講師: 伊藤剛、師走の翁、武富健治、鶴谷香央理、水上悟志、みずしな孝之、横山了一、米代恭ほか

最終講評会 審査員: 武富健治、ブルボン小林、金城小百合、さやわか

募集期間: 2022年1月22日~2022年3月1日

定員: 制作コース 30名、聴講コース 15名

※通年での募集となります。

※先着順での受付となります。定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます。

※応募状況により、定員は若干名増えることがあります。

受講料: 正規受講生 330,000円(税込) 同人誌制作費・同人誌販売経費・修了作品選考料を含む
聴講生 165,000円(税込)

3 主任講師 さやわか氏より



主任講師 さやわか

マンガで対話しよう。

マンガを描く上で、そして表現者としてその活動を続けていく上で、絶対に必要な能力があります。それは「対話する力」です。

マンガを描くことは、孤独な行為ではありません。創作の際には、常に、誰かとの対話があります。

ひらめき☆マンガ教室を受講すると、その強力な「対話する力」が身につきます。

そこに価値を感じ、努力してくださる受講生を募集いたします。

ではその、マンガを描く際に必要な「対話する力」とは何でしょうか。

以下、5つご紹介します。

①読者との対話

マンガを描くときには「こう描いたら、読者に意図が伝わるんじゃないか?」「読者は、どんなマンガを面白いと思うのだろう?」と懸命に考えながら、絵と言葉を画面に配置します。それはまさに、作家から読者への、対話的

な働きかけです。

マンガは「読み物」です。だからこの話は、実は商業作品でも、ネットや同人誌で作品を無料公開するのも、同じことです。結局は、それを読むのがどんな人なのか、その人に何をどのくらいわかってもらいたいかを見据えて、その人との対話を試みることになります。

ひらめき☆マンガ教室では、その「作品を通して、読者と対話する」力を養います。

②過去のマンガ家との対話

マンガを描くことは、「過去のマンガ家たち」との対話でもあります。日本のマンガの歴史は長く、いろんな作家たちが、テクニックを磨き、積み重ねてきました。新たな手法が生まれては、意味や形を変えながら、他の作家たちによって繰り返し用いられてきたのです。あなたがマンガを描く際には、そうした過去の作家たちの優れた技を理解し、あなたもまた自分の表現へと活かしていくことになります。それは、過去、現在、そして未来へと、マンガ表現についての対話を継続していくことでもあります。

ひらめき☆マンガ教室では、コマ割りやリズム、マンガの文法、演出、キャラ造形や企画作りにいたるまでの表現を、商業活動が続ける豪華なゲスト講師陣との直接対話で、学ぶことができます。

③仕事相手との対話

こういう対話もあります。もしあなたがプロを目指してマンガを描くなら、仕事の相手(編集者、クライアントなど)とも、対話をしながら作品を作ることになるでしょう。その人が言っていることの意味を理解して、知りたいことをうまく質問して、まさに対話の中から、表現の落とし所を見つけていくことになるでしょう。ひらめき☆マンガ教室では、あなたが誰かと一緒にマンガを作る際に、どのようなコミュニケーションが必要で、どう振る舞えばいいのかをみっちり指導します。

④自分自身との対話

ひらめき☆マンガ教室では、自分を客観的に見ること、つまり自分自身との対話が求められます。自分はなぜそんな表現をしたのか、読者に何を言いたいのか、自分のクセは何か、強みは何か、弱い部分は何か、「彼を知り、おのれを知れば百戦あやうからず」という言葉がありますが、それを知ることが、マンガを描く力になるのです。あなたが成長するには、好き勝手に描けばいいわけでもありません。かといって、誰かから言われたことをそのままやればいいわけでもありません。ひらめき☆マンガ教室は、あなたが自分を知り、何をするのか定めるサポートを行います。

⑤コミュニティとの対話

そして最後に、マンガを描くことは、志を同じくする人々との対話の機会でもあります。ひらめき☆マンガ教室には、あなたと同じように「マンガを描こう」「もっと自分のマンガを伸ばそう」と思う人たちが集まっています。また、商業作品で活躍しているゲスト講師も次々に登場します。この「マンガ教室というコミュニティ」との積極的な関わりを通してこそ、上記①～④の対話も育まれていきます。

ひらめき☆マンガ教室では、上記5つの対話に積極的に踏み出し、自分の作品をより良いものに変えようと努力する方のご参加をお待ちしております。

ぜひ一緒に、マンガで対話し、実りある一年間を過ごしましょう。

多数のご応募をお待ちしております。

(主任講師 さやわか)

参考 URL

ひらめき☆マンガ教室 <https://school.genron.co.jp/manga/>
ひらめき☆マンガ教室 Facebook ページ <https://www.facebook.com/genronmanga>

ゲンロンスクール <https://school.genron.co.jp/>
ゲンロン <https://genron-tomonokai.com/>
ゲンロンカフェ <https://genron-cafe.jp/>

【単行本『マンガ家になる！』】

「ひらめき☆マンガ教室」第1期の講義をまとめた単行本。第1期でゲスト講師を務めた横槍メンゴ、TAGRO、この史代、江口寿史ら各先生をはじめとし、プロのマンガ家のさまざまなエッセンスが凝縮された、他に類を見ない指南書として注目を集めています。

B5判／本体 208 頁／1,980 円(税込)

<https://amzn.to/2DyMXiG>

【「第4回 ゲンロンひらめき☆マンガ大賞」選考会】

2021年8月28日(土)、ゲンロンカフェにて〈ゲンロン ひらめき☆マンガ教室〉第4期の最終講評会となる「第4回 ゲンロンひらめき☆マンガ大賞選考会」が開催されました。講評会の模様は、Youtube でご覧いただけます。

Youtube: <https://youtu.be/O9-qq57-Nfw>

提出された受講生作品一覧: <https://school.genron.co.jp/works/manga/2020/subjects/11/>

主催・問い合わせ先

株式会社ゲンロン

〒141-0031

東京都品川区西五反田 1-16-6 イルモンドビル 2F

tel.03-6417-9230 / fax.03-6417-9231

Mail. info@genron.co.jp (担当 堀内)

<http://genron.co.jp>